

## “ユーザーファースト”で考える 課題の見える化と解決策の立案 (4119312)

ユーザーのことを第1に考える“ユーザーファースト”による、問題分析～課題の見える化～解決のアイデア～システム化までの一連の流れを、現場で起きている事例をもとにワークを通して学びます。実際に手を動かすことで、“ユーザーファースト”を実現するためのツールや手法を使いこなせるようになります。

※解決策立案のための情報収集用に、PC、スマートフォン等を使用しても構いません。

開催日時	2019年8月28日(水) 10:00-17:00
カテゴリー	事業戦略策定・事業戦略評価 業務遂行スキル <b>ヒューマンスキル</b>
DXリテラシー	Mind(マインド・スタンス)：デザイン思考／アジャイルな働き方
講師	大脇 氏 (Ridgelinez株式会社 Technology Group) 1988年 富士通株式会社入社。 2003年より、最新の技術・手法を実践し、社内に展開する業務に従事。 2013年 社内システム開発にアジャイル開発を採用し、自ら実践。その経験から得られた知見を活用し、社内へのアジャイル推進(講座開催、現場支援)活動中。その中でも、超上流からUX向上を目指した活動に注力。 2016年 認定スクラムマスター取得。 2020年 Ridgelinez株式会社に転籍。 2020年 SAFe Program Consultant取得。
参加費	J U A S 会員/ITC：33,000円 一般：42,000円(1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会(日本橋堀留町2丁目ビル2階)
対象	要求定義、企画業務に携わる情報システム部門、情報グループ会社の方 ユーザーが真に望んでいることを理解し、システム開発につなげたい方 <b>初級</b>
開催形式	講義、グループ演習
定員	20名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITCA認定時間	6

### 主な内容

ユーザーファーストとは、ユーザーの言う通りにする、ということではありません。

ユーザーにとって本当にためになることは何か、を常に考えることです。

本講座では、ユーザーファーストで考える事の意味、それをどのように実現するかを学び、

さらにワークを通して実践することで、ユーザーファーストの考え方を現場で活かせるようになります。

#### 講義：

- なぜユーザーファーストなのか
- 問題分析・課題の見える化の勘所

#### 演習：

ワークでは、社内ヘルプデスクの問題を題材にし、ユーザーファーストを実践する上で

特に重要となる問題分析・課題の見える化を中心に進めます。

真に困っているのは誰か?、何に困っているのか?を明確にし、その問題に対する効果的

な解決策の立案までを体験します。

- ペルソナの設定
- カスタマージャーニーマップによる問題分析と解決のアイデア出し
- アイデアを実現するシステム化案